

地震保険研究 1 2

海外地震保険制度 ～トルコ共和国 2006 年調査～

平成 1 9 年 5 月

損害保険料率算出機構

はじめに

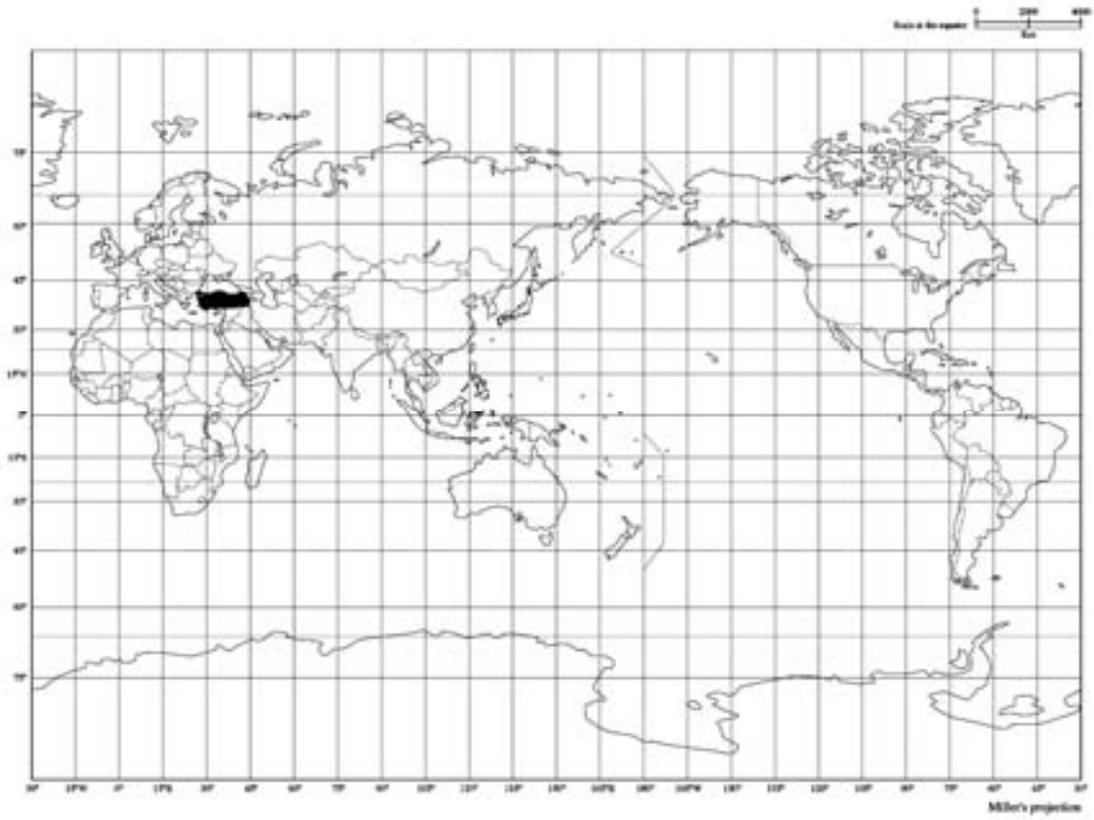
トルコ周辺では、ユーラシアプレート、アラビアプレート、アフリカプレート、アナトリアプレートの4つのプレートがせめぎ合っている。これらのプレート境界は北アナトリア断層や東アナトリア断層など、大規模な断層となっており、大規模な地震が発生しやすくなっている。

1999年8月のイズミット地震は、北アナトリア断層のズレにより発生したものであり、この北アナトリア断層における地震は20世紀だけでも9回起きている。

トルコでは、地震による損害（住宅関連）についての政府による補償が手厚かったため、住宅所有者の地震保険への加入は広がっていなかった。しかし、1999年のイズミット地震以後、地震による損害から生じるリスクを政府のみが負担する方法を続けることに代わる制度の必要性が認識され、トルコ政府は、世界銀行と協力して、TCIPを立ち上げた。現在、TCIPによる強制保険と、TCIPによって補償されない部分を補償する民間保険会社の地震保険がある。

この報告書は、トルコの地震保険制度をまとめたものであり、この国の実情を理解してもらう意味で地理的環境、地震危険等の説明も併せて記載した。なお、本報告書は2006年11月時点の調査に基づいたものである。

平成19年5月
損害保険料率算出機構



トルコ共和国

目 次

第1章 トルコの自然と社会	1
第2章 トルコの地震危険	7
第3章 トルコの損害保険制度	13
第4章 トルコの地震保険制度	17
第5章 TCIP の地震保険モデル	33
第6章 トルコの地震保険商品	43
第7章 トルコの地震保険制度の今後の課題	59
おわりに	63
参考資料	65
資料1 トルコの住宅状況 (写真)	
資料2 強制保険契約書および不動産所有証明書	
資料3 日本とトルコの地震保険制度の概要比較	